

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和7年 7月 31日

岐阜市長 様



提出者

住 所 岐阜市鹿島町7丁目1番地

氏 名 岐阜市民病院
岐阜市病院事業管理者 岩間 亨
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 058-251-5686

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	岐阜市民病院
事業場の所在地	岐阜市鹿島町7丁目1番地
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	病院
②事業の規模	565床
③従業員数	1600名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物 (医療廃棄物)	引火性廃油 UIアルコール
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物 (医療廃棄物)	引火性廃油 UIアルコール
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物 (医療廃棄物)	引火性廃油 UIアルコール
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物 (医療廃棄物)	引火性廃油 UIアルコール
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第5面)

(第 5 面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物 (医療廃棄物)	引火性廃油 UIアルコール
	全 処 理 委 託 量	420 t	1.5 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 感染性廃棄物(医療廃棄物)、引火性廃油(キシレン)については、 その性格上削減は困難にあたるが、適正な分別の徹底を図ることにより さらに減量することに努めたい。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度(令和 6年度)実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	402.5 t	
	(今後実施する予定の取組等) 特定管理産業廃棄物の収集、運搬、処分(最終含む)の処理が適正に 行われているのかを電子情報処理組織のデータを確認し、その記録を保 管		
※事務処理欄			

特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程

処理委託業者に対する監督計画	委託業者の選定及び監督	・ 収集運搬および処分にかかる契約に際し、許可証の写しの提出を求め、保管。
	委託後の適正処理の確認	・ 電子マニフェストにより、適正処理を確認。また必要に応じ収集、運搬、処分(最終含む)の工程を確認し、その記録を保管。
特別管理産業廃棄物(感染性産業廃棄物)の管理方法	分別	・ 発生現場に設置の専用容器に、直接その場で廃棄し、密閉後、他の廃棄物と完全分別し排出。
	容器	・ 丈夫な専用容器を使用。バイオハザード・マークを添付し、感染性廃棄物である旨を表示。
	保管	・ 感染性廃棄物が、飛散、流出、地下浸透また、悪臭が発散しない構造で、他の廃棄物と完全に区分された独立の保管場所を設けている。 ・ 保管場所には、係者以外の者が立ち入らないよう、感染性廃棄物の存在を表示するとともに、責任者、連絡先の表示を施している。
産業廃棄物の減量に関する計画		・ 感染性産業廃棄物、廃プラスチック、ガラスくず等、廃酸、廃アルカリ、汚泥、引火性廃油等については、病院業務上削減は非常に困難ではあるが、職員全員に分別の徹底を図り、少しでも減量に努める。 ・ その他の事業系産業廃棄物については、更なる分別を図り、リサイクルを徹底させる。
処理方法に関する事項	業者委託	・ 廃プラスチック類、ビン、カン、ガラス・陶磁器くず類、ダンボール、廃棄文書等紙類等は分別し、リサイクル ・ 感染性医療廃棄物、廃油は焼却処分 ・ 廃酸、廃アルカリ等は中和後焼却処分 ・ 事業系産業廃棄物粗大ゴミ(リサイクル不能分)は破碎処分
処理施設の整備に関する事項		・ 処理はすべて業者委託のため、該当なし
その他必要な事項		・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、消防法、放射線障害防止法、毒劇物取締法、労働安全衛生法、その他関係法令を順守し処理をする。

管理体制図

